

上を図る。

- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期日・会場 9月3日(火)～9月7日(土) 国立磐梯青年の家
- ④ 対 象 県立学校中堅教員 98名
- ⑤ 内 容

ア 講 演
わが回顧と反省
元会津女子高等学校長 小林 貞 治
青年問題の根本的な見方
国立磐梯青年の家所長 浅川 淑 彦

- イ 講義並びに研修題
 - 中堅教員に望む
 - 教育行政上の諸問題
 - 学習指導の改善と工夫について
 - 生徒指導について
 - 教育委員会と学校
 - 職員団体と争議行為
 - 勤務時間管理と給付法
 - 学校事故と教員の責任
 - 現職教育において、中堅教員はいかなる役割を果たすべきか
 - 新教育課程実施についての問題点及びその解決の方途について
 - 学校の教育機能において、中堅教員の果たす役割について
 - 職員会議の性格、持ち方、効果的運営について

(14) 県立学校新採用教員研修会

- ① 目 的
県立学校新採用教員に対し、服務・教育課程及び生徒指導等について研修を行い、教育公務員としての必要な知識を得させる。
- ② 主 催 文部省、福島県教育委員会
- ③ 期日、会場
第一次 4月3日(火)～4月5日(金) 福島県教育センター
第二次 7月23日(火)～7月26日(金) 国立磐梯青年の家
第三次 8月19日(月)～8月21日(水) 県内5方部
第四次 12月17日(火)～12月20日(金) 福島県教育センター

- ④ 対 象 昭和49年度県立学校新採用教員全員 136名
- ⑤ 内 容
ア 講 演
私の教師遍歴
前県立会津女子高校校長 玉川 春 雄
最近の青年問題
国立磐梯青年の家所長 浅川 淑 彦

イ 講義並びに研修題
新採用教員に望む・高校教育の使命・県立学校の概要・教職員の福利厚生・教職員の服務と勤務・教育課

程と学習指導要領・効果的な授業のあり方・生徒指導について・高等学校教育上の諸問題・教育評価について・特殊教育について・教科指導について・教師の勤務時間とその他の勤務条件・教師の研修・学校事故と教師の責任・進路指導について・教師の身分と職務・教師と職員団体・政治的行為の制限について・兼職兼業について・中学校教育から見て高等学校新採用教員に望む・学業指導・教育財政・安全教育・教職員の人事管理・教育機器の活用・各教科指導について

ウ その他

第三次研修では、県内5方部の特殊教育諸学校の視察並びに関係教職員との懇談を行い、特殊教育に対する理解を深めた。

4 教職員研究奨励

(1) 小・中学校教職員研究論文募集

県下小・中学校教職員から教育実践に関する研究論文を募集し、教職員の自主的な研修を推奨することによって、研修意欲の高揚や専門性の向上に資し、もって本県教育の振興を図る。

- (2) 主 催 福島県教育委員会
- (3) 応募資格 福島県公立小・中学校教職員
- (4) 応募方法

- ① 題名は自由とする。
- ② 学校(学級)経営、学習指導、特殊教育、へき地教育等について、日常実践研究した内容を記述すること。

(5) 応募数 62

- (6) 審査員
東北福祉大学教授 安田 初 雄
福島大学教育学部教授 蜂谷 剛
郡山女子大学短期大学教授 長谷川 寿郎
学法福島工業高等学校長 栗原 喜蔵

(7) 入 選 者

ア 特選者

氏 名	学 校 名 ・ 職 名
山田 恒 人	伊達町立伊達中学校教諭
渡部 俊 朗	郡山市立行健中学校教諭

イ 佳作者

氏 名	学 校 名 ・ 職 名
神野藤 シゲ子	本宮町立本宮小学校教諭
渡部 裕 之	須賀川市立阿武隈小学校教諭
尾平 孝 次	白河市立白河第一小学校教諭
大堀 重 男	会津若松市立謹教小学校教諭
泉田 俊	双葉町立双葉北小学校教諭
穂積 邦 明	二本松市立二本松第一中学校教諭
柳沼 秀 雄	郡山市立郡山第一中学校教諭
秦 敬 輔	喜多方市立喜多方第二中学校教諭

(8) 表 彰

西庁舎会議室において、表彰式を挙行し、賞状並びに記念品を授与した。